

同窓会報

城友

第 4 号

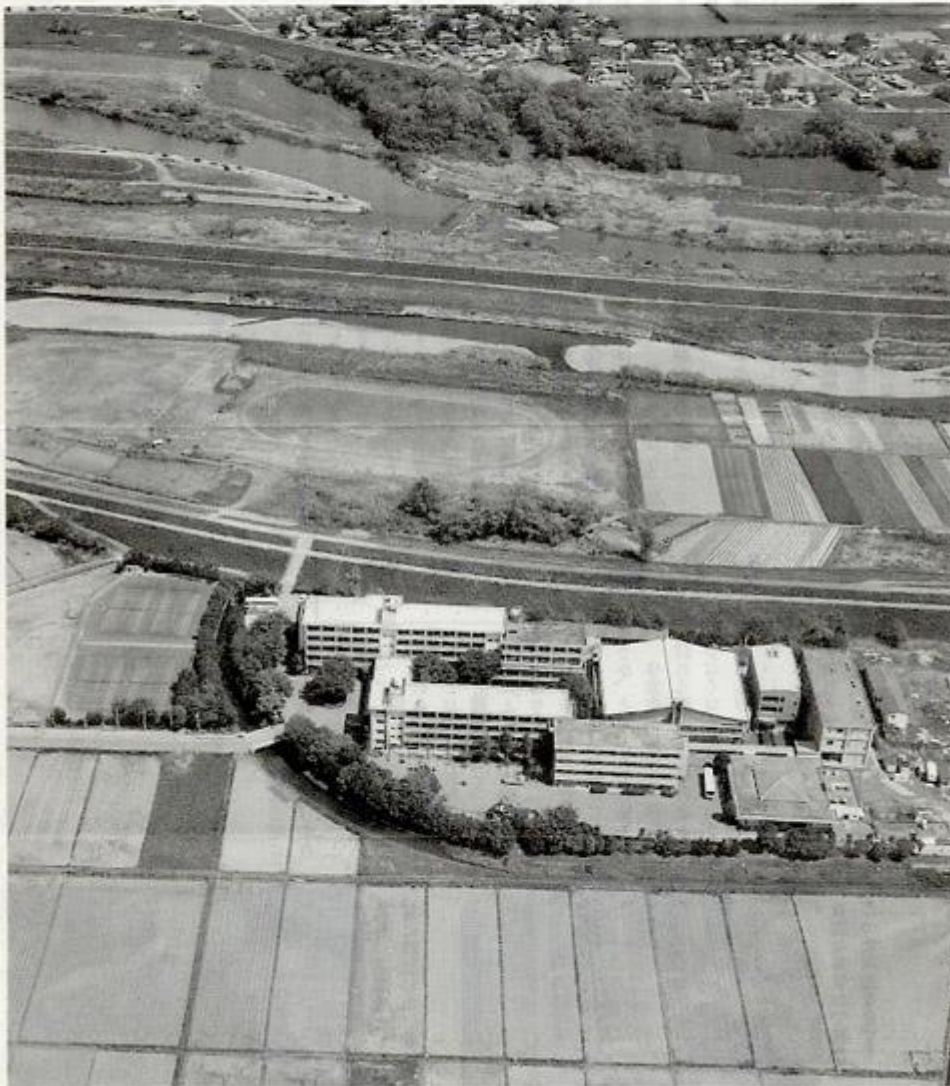
発行月日

平成5年10月16日

発行者 城西大学付属川越高校同窓会 川越市山田東町1042

TEL 0492 (24) 5665

FAX 0492 (23) 2371



同窓会事業報告



同窓会会長（一期生）

大坂谷 良弘

会報「城友」も、第四号の発行となりました。今回は、同窓会本部の活動と現状についてお話しして、会員の皆様のご理解とご協力を頂きたいと思っております。

同窓会の活動の目的は、同窓会会則にもありますが、会員相互の親睦を図り、併せて母校の発展に寄与することにあります。その為に、同窓会報の刊行、会員名簿の作成、記念事業の施行、けやき祭の参加などを行っています。活動は年十回程度で、主に会報「城友」の発行とけやき祭への参加などとなっております。前回号でお話した、今後の同窓会発展のための一つの課題であります、同窓生・在校生への同窓会への意識付けといった事が、この二つの活動を核とする事によって、改善されてきたと感じます。このように、徐々に発展を遂げてきた同窓会ですが、ここで大きな問題を生じる事となり、皆さん

にご協力をお願いしたいと思っております。それは、活動資金の不足です。現在の同窓会は、皆さんが卒業時に一度だけ納める同窓会費だけで運営されています。今までの体制であれば、十数年近くは資金不足など、活動に影響が生じる事などありませんでしたが、母校の教育方針による入学募集人員の大幅な減少は、卒業時の同窓会費の減少に直結する訳で、早急にこの対策を講じなくてはなりません。

同窓会活動の縮小も考えましたが、まずは同封しました活動補助金の募集にありますように、同窓生の皆さんに、ご理解とご協力をお願いしまして、将来の同窓会へ夢をつないでいきたいと考えます。平成七年の春には、同窓会設立二十周年事業の計画があります。ご支援をお願いします。



同窓会幹事長（二期生）

猪瀬 晴久

城友をご覧になっている方以外、母校に同窓会が存在し、多少なりとも活動をしていることをご存知の方は、私共の力不足も伴い、まだ少ないことと思っております。

況して一期生が、まだ三十七才という、人生の多難な時期におられる訳ですから、卒業生の方々ほとんどが、母校に対して意識が希薄になることと思っております。この様な状況下におきまして、役員活動事体、安易な事ではございません。とわゆえ、継続は力なり。建設的活動が肝心と思っております。又、恥として、後進の育成も意識しております。それゆえ、在校生に対し同窓会を認識して頂き、将来活動に参加して頂く為に、アピールするものが必要と考え、現在、大坂谷会長には、ご多忙の中、卒業式にご出席頂き、その明解なご

文化祭への参加

挨拶は周囲の評価を得ておられます。加えて兼ねてから、懸案事項になっておりました、けやき祭への参加も、去年やっと実現させることができました。これも、大坂谷会長の発案とご尽力により川越消防署のご理解を得て、「ナマズ号による地蔵体験」の運びとなりました。

好評を博しました故、しばしこの企画を続けてみようか、と思っております。卒業生の皆様、学校を訪れる機会は、年々ともなう少なくなることでしょうがよろしければ、お子様のいらっしゃる方が、ご見学にいられることを心待ちにしております。けやき祭は、毎年九月の第一土・日曜日です。



当日、同窓会として、けやき祭に参加したOBたち



貴重な体験ができたという好評だった川越なます号

OBだより

頑張ってます!!



年輪



二期生
井上 賀雄

私が城西川越を卒業して早十七年、月日の経つのは早いものです。今回「校友」に寄稿させて頂くにあたり、お声がけ頂いた委員の方々に深く感謝致します。

さて私は現在、大日本製薬株式会社勤務し医薬情報司の新薬部で医薬品の情報伝達を担当しています。相手は医師、薬剤師と言うことになりませんが、大学病院の高度な医療に如何に対応していくか、昨年度の情報があつと言う間に誰にも見向きされなくなる世界で、常に新しい情報を入力し提供する、なかなか見えにくい物を対象に仕事をしています。そして勿論医師、薬剤師といえども相手は人間、情報以上に大切な「何か」を入社以来十三年間学んで来たような気がします。

班を行い当時妙利とアスファルトだけだった玄関前の植え込みとその周りに白樺の木を何本か植えた事です。当時手で掘れた程細かった白樺の苗木は、今は十七本の年輪を重ね大きな木陰を作っている事でしょう。

人の年輪は、外観からは見えません。今回の奇蹟にあたり日頃仕事中心の生活から、ふと自分の白樺に会いたい気分になりました。

私の転機



七期生
米山 文清

私は高校卒業後、一年浪人をしました。

高校三年の時、進路を商学部に決め、入試を受けましたが、壁は厚く、受験した大学は全て落ちてしまいました。

そのため、もう一度商学部を受けるつもりで、浪人することに決めました。

予備校に通うにあたり、家族、親戚と話し合い、一転、教師になることに決めました。

今まで理数系で来た私にとって、

国語、社会といった文科系をりからやることは、一年という期限の中ではずらひことでした。

結局、第一志望校には入れませんでした。何とか大学に入学することができました。

大学に入学してから、サークルに入り。そのサークルが「手話サークル」で、今の私の職業のきっかけとなりました。しかし、当時はそんなことは全く思ってもみませんでした。

現在、社会福祉協議会というところで、主に手話通訳の仕事をしていてます。

歯科医師を目指していたあの頃から思えば、今の「福祉」の仕事は遠くとも知れませんが、しかし、どちらも「人間相手」の仕事です。このような世の中だからこそ、このような仕事に私は誇りを持っています。

大変な下宿生活



十八期生
高橋 徹

福島県の郡山市にある日本大学工学部に入學して、はや一年半。

入学はじめての、これから知らない土地での生活がはじまる、という不安が今では遠の昔のように思えます。この郡山は住むには本当にいい場所であると思えます。なぜかと言えば、遊ぶ所がいっぱいで、車で三十分も行けば海(磐城代海)があり、一時間位行けばスキー場。ちょっと足をのばせば太平洋、そのほか書き切れないほどいろいろな見どころがあるので、遊ぶにはいい所です。ただ、町が小さいところは気になります。

大学に入って一番大変なことは一人暮らしでの生活、家事に追われる毎日です。その中でも食事が大変で、最初のうちはインスタント食ばかりが長く続き、カップラーメンもほぼ全種類食べつくしたほど(うそ)でしたが、やはり体のことを考えて、なるべく自分で作るようになりました。今ではレパートリーも増え、洋食へも挑戦したりしています。しかし、パイトやサークルなどで遅く帰ってきた時にはこたえます。その他、洗たくやそうじ、買い出しなどなら、一人暮らしではやらなければならないことがたくさんあることが初めてわかりました。家事がどれだけ大変かということが、親元をはなれて初めてわかりました。これからはがんばります。

母校このごろ

高校

昨年の十月、花鏡部屋の再興を記念して本校にも相撲研究会が誕生した。主に大相撲の研究をする同好会で実際に土俵を作って実技に励むものではない。

今や大相撲は囀・貴ノ花・若ノ花といった若手力士の出現で空前のブームを引き起こしている。長い相撲歴史の中でも、一つのピークといえる時期ではないだろうか。そんな必然性の中で生まれた同好会である。

部員数は十四名、いずれも精銳の「力上」である。大は一八八十

五匹を超える者から、一匹五十匹台まで多士済々のメンバーによって構成されている。

活動内容は国技館へ行っての大相撲見学、とはいつても本場所のチケットはプラチナペーパーゆえ空いている引退相撲の見学だが、それに相撲部屋見学などを行っている。昨年度の冬休みには、山梨にある花鏡部屋の稽古場や体のふもらった。実際の稽古場や体のふ

つかり合う首に感嘆しほしであった。稽古終了後、ご馳走になったあのちゃんこ鍋は格別な味だった。今後も大相撲を楽しく勉強していくつもりである。

中学校

○4月6日 入学式

開校二年目を迎えた中学校は、88名の新入生を加え総勢166名となった。昨年の入学式は高校生にお手伝いを願ったが、今年は中学生だけの入学式。二年生は先輩としての自覚を胸に、また新入生は、これからの真新しい生活に期待と不安を胸に式に臨んだようだ。

○4月30日 遠足

一年生は長瀬へ、二年生は葛西



<第1学年林間学校・北志賀高原電王山頂>

臨海公園へと、生徒の立てたスケジュールを基に行動した。あいにくの雨ではあったが、充実した一日であった。

○6月5日 授業参観・父母会

授業参観の後、父母会が開催された。95%以上の出席率から見て、子供の学校生活や学習に取り組む姿勢がやはり気になるようだ。

○7月29日・7月31日 林間学校

166名が参加。美しい自然に恵まれた北志賀へ、一路バスで。魚のつかみどりや、飯盒炊き、キャンプファイアなど普段体験できないことを皆で楽しんだ。

○一年生もたくさんの友達ができ、最近では、グラウンドに、教室に、廊下にと、賑やかな声が響きわたっている。

福島博敏先生逝去さる

本校理科教員として十八年間尽力されてきた福島博敏先生が、去る一月十三日午前二時十四分永眠された。死因は心不全、享年三十九歳。葬儀は一月十五日、冷雨の中で肅然と行われた。新藤校長の弔辞の後、七百余名の参列者が焼香、別れを惜しんだ。



故 福島 博敏先生

早いものである。城西の学会を果立って8年が経ってしまつた。あの頃の友とも連絡を取り合う事が少なくなつて久しい今年一月、

久々に級友から受けた電話の内容は、皮肉にも担任だった福島先生の訃報であった。

福島先生には授業を2年間、そして最終学年でクラス担任を持って頂いた。それ以外にも物理総務み(部員では無かったが、友人を茶化しに出入りしていた)での緑もあり、従つて授業の場以外でも色々とお世話になってきた。

私がクラス担任を持って頂いた3年E組(昭和59年度)は、何やかんやでハメを外すクラスであり、福島先生の手を煩わせたクラスだつ

たかも知れない。でもその分だけ、先生の印象に残っているのかな？

と思いたくもなるが、「馬鹿もん/甘いな、根津」との先生の声

が聞こえてきそうである。本当のところを、クラス会の場などで酒でも酌み交わしながら確かめてみたかったが、残念ながら叶わぬ夢となつてしまつた。

そう言えば私自身、大学へ行ってからは城西高校とも疎遠になりがちで、大学での事、社会へ出てからの事等々色々話したい事は溜まっていたし、大人になつたな、教師と生徒といふ立場を越えて色々な話もしてみたかったので、非常に残念である。旧3年E組としてのクラス会も一度も開けなかったし、先生が通つてしまつたのは、あまりにも早過ぎたと思ふ……

早いものである。あれからもう8ヶ月経ってしまった。来年で卒業10周年、福島先生の想い出を語り合うために、クラス会でも聞いてみたくなつた。

(十一期生 根津 誠)

平成5年度入試 大学合格者数

< 国公立大学 >

平成5年4月

大学	現役生	通年度生	合計	大学	現役生	通年度生	合計	大学	現役生	通年度生	合計
北海道	3(2)	3(0)	6(2)	東京工業	0(0)	2(0)	2(0)	琉球	0(0)	1(0)	1(0)
北海道教育	0(0)	1(0)	1(0)	東京学芸	2(0)	2(1)	4(1)	新潟公立	0(0)	1(0)	1(0)
帯広畜産	0(0)	1(0)	1(0)	東京農工	2(5)	3(1)	5(6)	都留文科	1(0)	0(0)	1(0)
東北	3(5)	3(1)	6(6)	一橋	0(0)	1(2)	1(2)	会津	1(0)	0(0)	1(0)
山形	4(3)	1(0)	5(3)	電気通信	2(9)	2(1)	4(10)	高崎経済	8(2)	0(1)	8(3)
岩手	1(1)	0(0)	1(1)	東京商船	0(0)	1(0)	1(0)	東京都立	2(4)	2(2)	4(6)
群馬	2(4)	0(1)	2(5)	横浜国立	1(0)	1(0)	2(0)	横浜市立	4(1)	2(2)	6(3)
宇都宮	2(1)	1(0)	3(1)	山梨医科	0(0)	1(0)	1(0)	都立科学技術	0(0)	1(0)	1(0)
上越教育	1(0)	0(0)	1(0)	富山	0(1)	1(1)	1(2)	岐阜薬科	1(0)	0(0)	1(0)
茨城	0(0)	1(0)	1(0)	信州	2(5)	0(0)	2(5)	福井県立	0(0)	1(0)	1(0)
埼玉	21(11)	4(7)	25(18)	筑波	2(0)	0(0)	2(0)	下関市立	0(0)	1(0)	1(0)
千葉	1(3)	3(1)	4(4)	静岡	1(0)	0(0)	1(0)	その他	0(0)	0(0)	0(0)
								合計	67(64)	41(26)	108(90)

< 大 学 校 >

大 学 校	現 役 生	通 年 度 生	合 計	大 学 校	現 役 生	通 年 度 生	合 計	大 学 校	現 役 生	通 年 度 生	合 計
防 衛	4(7)	6(0)	10(7)	水 産	0(0)	1(0)	1(0)	航空保安	1(0)	0(0)	1(0)
								合計	5(9)	7(1)	12(10)

< 私 立 大 学 >

大 学	現 役 生	通 年 度 生	合 計	大 学	現 役 生	通 年 度 生	合 計	大 学	現 役 生	通 年 度 生	合 計
東北工業	0(0)	1(0)	1(0)	大東文化	20(25)	57(57)	77(82)	湘南工科	0(5)	3(2)	3(7)
足利工業	0(1)	1(3)	1(4)	高千穂商科	1(3)	1(5)	2(8)	東京工芸	0(0)	1(1)	1(1)
埼玉工業	1(0)	4(1)	5(1)	拓 殖	7(1)	17(5)	24(6)	同志社	1(3)	7(2)	8(5)
城西	34(34)	14(12)	48(46)	多 摩	0(1)	1(1)	1(2)	立 命 館	3(4)	6(1)	9(5)
駿河台	8(9)	3(9)	11(18)	玉 川	3(2)	0(5)	3(7)	関 西	1(0)	1(1)	2(1)
聖学院	3(0)	1(1)	4(1)	中 央	29(27)	38(26)	67(53)	東京造形	0(0)	2(1)	2(1)
東京国際	13(16)	23(22)	36(38)	帝 京	4(10)	10(11)	14(21)	日本医科	0(0)	1(1)	1(1)
独 協	2(8)	5(20)	7(28)	東 海	5(14)	7(13)	12(27)	日本経済	0(1)	1(0)	1(1)
文 教	3(2)	3(4)	6(4)	東京経済	9(16)	15(18)	24(34)	流通経済	0(0)	1(3)	1(3)
明 海	0(3)	5(4)	5(7)	東京工科	3(1)	3(0)	6(1)	多摩美術	2(0)	1(0)	3(0)
千葉工業	5(0)	4(4)	9(4)	東京電機	12(23)	17(14)	29(37)	麗 沢	1(0)	1(0)	2(0)
東京情報	0(0)	1(0)	1(0)	東京農業	4(2)	1(2)	5(4)	麻 布	1(0)	1(0)	2(0)
中央学院	3(5)	2(3)	5(8)	東京薬科	0(2)	3(1)	3(3)	昭 和	0(0)	2(0)	2(0)
青山学院	15(23)	23(14)	38(37)	東京理科	22(19)	14(14)	36(33)	武蔵野美術	0(0)	2(0)	2(0)
亜細亜	2(8)	22(11)	24(19)	東 邦	0(4)	3(2)	3(6)	和 光	0(0)	2(0)	2(0)
桜美林	0(0)	1(3)	1(3)	東 洋	25(26)	66(28)	92(54)	国際基督教	1(0)	0(0)	1(0)
学 習 院	6(6)	11(6)	17(12)	二松学舎	0(1)	1(0)	1(1)	日本体育	1(0)	0(0)	1(0)
北 里	0(0)	1(2)	1(2)	日 本	70(74)	71(50)	141(124)	鶴 見	1(0)	0(0)	1(0)
杏 林	2(1)	1(1)	3(2)	法 政	19(12)	50(24)	69(36)	札 幌	0(0)	1(0)	1(0)
慶応義塾	6(5)	9(10)	15(15)	星 薬 科	0(2)	1(0)	1(2)	東日本学園	0(0)	1(0)	1(0)
工学院	17(9)	5(9)	22(18)	武 蔵	7(5)	25(17)	32(22)	日本工業	0(0)	1(0)	1(0)
国学院	1(2)	5(5)	6(7)	武蔵工業	3(5)	6(3)	9(8)	敬 愛	0(0)	1(0)	1(0)
国士館	4(2)	13(14)	17(16)	明 治	38(25)	49(37)	87(62)	聖マリア学院	0(0)	1(0)	1(0)
駒 沢	13(8)	32(34)	45(42)	明治学院	4(8)	16(16)	20(24)	横浜商科	0(0)	1(0)	1(0)
芝浦工業	6(9)	7(7)	13(16)	明治薬科	0(6)	5(1)	5(7)	桐 野 園 林	0(0)	1(0)	1(0)
順天堂	0(0)	1(1)	1(1)	明 星	3(16)	6(9)	9(25)	近 畿	0(0)	1(0)	1(0)
上 智	4(8)	8(4)	12(12)	立 教	18(9)	15(8)	33(17)	名古屋商科	0(0)	2(0)	2(0)
昭和薬科	1(1)	0(0)	1(1)	立 正	3(2)	14(11)	17(13)	神田外語	0(0)	1(0)	1(0)
成 蹊	24(23)	19(26)	43(49)	早 稲 田	22(13)	33(27)	55(40)	その他	0(0)	1(0)	1(0)
成 城	9(1)	12(12)	21(13)	神 奈 川	2(2)	11(17)	13(19)	合計	534	855	1389
専 修	5(11)	16(7)	21(18)	関東学院	1(0)	3(7)	4(7)		(573)	(713)	(1286)

< 卒業生進路状況 >

※ () 内は昨年度合格者数

大 学	255名	46.4 %	就 職	0名	0 %
短期大学	0名	0 %	進路未定	294名	53.6 %
専門学校	0名	0 %	合 計	549名	100 %

< 城西大学推薦入学者数 >

経済学科	11名	薬 学 科	1名
経営学科	7名	製 薬 学 科	0名
数 学 科	1名	化 学 科	0名
合 計		20名	

OB会活動シリーズ

野球部

昨年十二月に野球部OBの現職会が川越平安園にて盛大に行われました。斎藤監督への感謝と塩澤新監督への期待を込めて大変多勢のOBが出席し、互いに親睦を深めあいながら、楽しく有意義な会となりました。一期生から十九期生まで年代の差こそありますが、高校時代、全員が「甲子園」を目指し、白球を追い続けてきたという共通の経験、そして価値観があるためか全く違和感はありませんでした。これからは、少なくとも

も一年に一回くらいは、このような会を開いていくつもりです。

さて、夏の大会では三回戦で、春日部工業に惜敗はしたものの、二回戦でシード校の浦和市立高を破る健闘ぶりでした。毎年、夏の大会になると皆さんのOB達が自然と球場に足を運びます。やはり、このようなところにもOBの団結力そして母校愛が感じられます。(十二期生 長谷川治生)

ラグビー部

毎年、本クラブでは、恒例になったOB・現役戦が「回」行われます。

その年引退した三年生を中心としたOBチームを精成して、現役の二年生、一年生と交流を兼ねて試合が行われています。試合が終わってしまえば同じグラウンドを汗水流して走り回った仲間同士として、和気あいあいとやっています。

三年間を通して部活動を続ける事によって、体力だけでなく忍耐なども培われます。そして、礼儀作法なども自然と身につくでしょう。今後も高校時代の厳しい練習を思い出して、それぞれの立場で頑張ってもらいたいと思います。(十九期生 藤野 明)

退職・新任

◇退職

黄色 松江(事務)

◇新任



武村 知美 (事務)



猪鼻 勝治 (理科助手)



関井 和夫 (理科助手)

リレー・エッセイ

人とのコミュニケーションを計る上で「会話」が不可欠なこととは言ってもありませんが、仕事上のお付き合いの時など何を話してよいか困ってしまうことはありませんか。まして女性との会話など、男子校である我が城西川越高校では教えてくれませんでした。

そこで、そんな話のネタに困っている人に水商売のお姉さんから教わった会話術を教えましょ

会話術

三期生 安田 誠

水商売のホステスさんの心得に「客との会話が途切れたら、テキドニセイリスベシ、を思い出

この中のどれかを話題にすれば話に困ることなし、というわけですが、セールのスマンの心得にも同類の合いことばがあって「裏キドニテカケサセン衣食住」と言います。すなわち「もうらばなし◎季節◎道楽◎ニュー◎ス◎旅◎天気◎家族◎健康◎酒◎セックス◎趣味◎仕事、となりです。覚えておいても損はないと思います。

20周年 記念式典 開催予定

同窓会では平成七年の春頃に、二十周年記念式典を予定しております。日時・会場など詳しい事については、次回号の城友などお知らせします。城友へは、お世話になった先式典へは、お世話になった先生方にも多数ご出席を頂く予定であります。同窓生の皆さま

寄稿のお願い

同窓会のご活躍の様子や同級生などの報告を事務局までお知らせ下さい。

川越市山田東町一〇四二
同窓会事務局
☎〇四九二一四一五六六六代